

不老会の集い

令和6年10月2日(水) 名古屋市公会堂において、
「不老会の集い」が開催されました。

残暑が続いた9月も終わった秋晴れの日、今年の“朝ドラ”のロケ地となった鶴舞公園内にある「名古屋市公会堂」において、480名の参加をいただき待望の「不老会の集い」が開催されました。

12時20分からの開場にもかかわらず、11時を過ぎる頃からは待ちきれない会員の方々が数人入口に列を作り始めました。日差しの下では暑いので、開場10分ほど前に受付が始まりました。受付でお土産を受け取り会場内へ。

会場内では、開会を待つ間「献体」のビデオが上映され、熱心に鑑賞されていました。「解剖映像を見られてよかった」「ビデオを見て感動しました。献体登録してよかったと思いました」など、会場の方の声も好評でした。



編集発行
公益財団法人 不老会
〒460-0008
名古屋市中区栄
2丁目10-19
名古屋商工会議所内
9:00~12:00 13:00~17:00
土日祝休
電話 (052)203-4580
FAX (052)253-7123
ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>

ビデオ上映

成願者に対する黙禱

主催者挨拶

記念講演

「脳・神経ってなにしてる？」

藤田医科大学
解剖生理学 教授 野村 隆士 先生

学生体験発表

藤田医科大学医学科3年 佐藤 響 様

アトラクション

「エルヴィス★トキ」





午後1時10分、成願者への黙祷の後、久野格彦 理事長が挨拶されました。いつもの如く聴衆を和ませる内容の挨拶で会場を沸かせました。

理事長あいさつ



私以前は太っていましたが、12年ぐらい前に乳がんになりました。男性も乳がんがあるんです。それで私は自分のことを“ポールニューガン”と呼んでいます。

不老会は、私の祖父が62年前に始めました。みなさんは、死んでもまだ社会貢献しようという高邁な思想を持っていらっしゃる、本当にすごいです。是非、その日が来るまで健康に生きてください。

みなさんもうご覧になったと思いますが、このたび不老会のホームページがリニューアルされ、スマホでも簡単にホームページにアクセスができるようになりました。トップページに連絡方法等がちゃんと書いてありますので、何かあったときには是非使ってください。作るときに非常に気を使ったのが、ホームページから間違いなく献体の手続きが出来るようにすることです。ここに集まっている方は80%ぐらいが会員の方だと思いますが、みなさんが使うということではありません。献体時に、どこに連絡したらいいか、アクセスしたらいいかということが、ホームページに書いてあるということを、ご家族の方が知っていたら不献体が少なくなりますので、是非言っておいてください。

今日は、この後野村先生のお話があり、最後には私の友人の“エルヴィス★トキ”のアトラクションがあります。素晴らしいステージになると思います。どうぞみなさん、今日一日楽しんで帰ってください。

午後1時20分からは、藤田医科大学解剖生理学教授 野村隆士 先生による記念講演がありました。

野村隆士先生のご講演

「脳・神経ってなにしてる？」

藤田医科大学 解剖生理学 教授 野村 隆士 先生



今日は、「脳とか神経、何やっているのか？」という話をしたいと思います。

ここに模式図がありますが、グレーの色がついているところを大脳と言います。下のほうの縞模様になっているのが小脳と呼ばれる場所です。そして、小脳の前にあるのが脳幹と呼ばれている場所です。延髄とも言いますが、大きくこの三つの部位についてお話をさせていただきます。

まず脳幹ですが、脳幹の機能の一つは、意識を覚醒状態に保つこと、あと生命維持に必須の中樞が集まっています。呼吸とか、心臓の動きとか、血圧、血圧の調節とか全部やっています。

次は小脳の話です。小脳は、姿勢調節の指令とか、体のバランスをとるとか、歩行の制御です。それから小脳の機能としては、運動をスムーズにするとか、運動をプログラムすることです。

次はメインの大脳の話です。大脳には、前頭葉、頭頂葉、側頭葉、そして後頭葉という4つの領域があります。後頭葉が担当しているのは視覚です。前頭葉は運動に関わることや感情のコントロールをやっていきます。頭頂葉は、見たもの聞いたものがどこにあるのかを判断しています。側頭葉はそれが何かを理解し、判断しています。

このようにめちゃめちゃ働いている脳を、甘いものなどを摂るなどして労わってほしいと思います。

ご静聴どうもありがとうございました。



11時半に一番乗りの方は、港区から10時に家を出て来ました。

先生の話が楽しみ、学生さんの話も楽しいです。

豊橋から初めて夫婦二人で来ましたが、豊橋はこのような会がないので楽しみです。

車で来るので、公会堂は駐車場があって便利です。

その後、藤田医科大学医学科3年の佐藤 響さんによる学生体験発表がありました。

学生体験発表

感謝の言葉

藤田医科大学医学科3年 佐藤 響さん

愛知県医科歯科系5大学の学生を代表して、感謝の言葉を述べさせていただきます。

昨年の4月からの解剖学実習が始まる前は、期待と不安とが入り混じっていました。実習当日、ご献体くださったお身体を前にして黙祷を行なうと、献体くださった方々への感謝の念を抱くとともに、ご遺族のお気持ちに誠心誠意お応えするべく、解剖学実習に真摯に取り組み、実習でしか学べない知識を最大限吸収しようと決意しました。

解剖学実習は生きた知識の宝庫でした。体の構造の複雑さや精巧さに知的探究心がさらに強くなりました。ご献体と対話を続けていくにつれ、命の尊さ、畏敬の念を持って患者様と向き合う大切さ、そして終わりなき学問を学び続ける力をお教えくださいました。

最後に、医学の発展のためにご献体くださいました皆様、並びにご遺族の方々、不老会の皆様に心から感謝申し上げます。



午後2時25分からは、待ちに待ったアトラクションです。今年は、アメリカの往年の名スターだった“エルヴィスプレスリー”のそっくりさん「エルヴィス★トキ」のステージショーです。

「エルヴィス★トキ」は、アメリカ・テキサス州ダラスで行われた「エルヴィス・プレスリーコンテスト」で優勝した実力派です。

プレスリーはもちろん、オールディーズのアメリカンポップスや日本の懐かしい曲で、オーディエンスを巻き込んだ、踊りまくりのステージが繰り広げられました。

代表曲“ラブミーテンダー”を始めとした数々のプレスリーナンバーで聴衆をわかせてくれました。

後半には、ジュリーの“勝手にしやがれ”やチェッカーズ、尾崎紀世彦、郷ひろみなど、日本の懐かしきスターの曲もあり、会場と一体となったパフォーマンスを楽しみました。



エルヴィス★トキ オンステージ

エルビスの世代なので、
今年のアトラクションは、
本当に楽しかった！



“ハートブレイクホテル”



チェッカーズ“涙のリクエスト”
ハンカチ振ってノリノリ!!



“監獄ロック”
オーディエンスも笑顔に!

♪ 来年もお元気でお会いしましょう ♪

医学のおはなし

みなさんが入会しておられるのは「不老」会ですが、健康長寿⇨不老の先に、古来から人々が見据えているものは、「不死」であるようです。これまでは、不老(アンチエイジング)に役立つ薬、サプリメントや生活習慣を探求することに医師、研究者の関心が寄せられていましたが、そのアイディアの源は、古くなった体の部品を交換しながら、あるいは、修理しながら健康寿命を延ばすことに辿り着くかと思えます。しかし、現代では、「脳死」がヒトの死と見なされるように、「脳」が「このころ」を宿し、いのちそのものだと考えられています。脳が生き続けることを、不死と言い換

えることができると言えるのではないのでしょうか。では、脳が生きたら、どういうことでしょうか。多くのみなさんは、中学や高校で脳は神経細胞からでき、神経細胞の間の「電気的なやり取り」が、脳の活動の実態だと学ばれたこと

では、脳が生きたら、どう

いうことでしょうか。多くの

みなさんは、中学や高校で脳は神

経細胞からでき、神経細胞の間

の「電気的なやり取り」が、脳

の活動の実態だと学ばれたこと

不死をめぐる最近の話題

名古屋市立大学大学院

医学研究科統合解剖学 教授

植木孝俊

と思います。これは、脳という物質が大切なのではなく、脳を流れる「電気」が大切だということを意味しますので、みなさんの意識やこころは、電気シグナルに翻訳可能だと言えます。脳には千億個の神経細胞があり、そのやり取りを丸ごと記録

のGoogleやMetaなどのアメリカのテック企業は、早速、脳でやり取りされる「電気的なやり取り」をモニターし、ヒトが何を感じ、何を考えているのかを

読み解く技術の開発に奔走しています。近い将来、例えば「りんご」を思い浮かべるだけでコ

えで、みなさんはどのようにお考

えで、みなさんはどのようにお考

えで、みなさんはどのようにお考

えで、みなさんはどのようにお考

目標を持っていつまでもお元気で!

今年の夏、登山を趣味にしている不老会会員の三人が、仲間と一緒に日本一の山「富士山」登山に挑戦しました。

江戸時代の富士講の人が登った一合目の馬返しから、カメのようにユックリユックリと、二泊三日の日数をかけて富士山頂の浅間大社奥宮まで無事登り切りました。三人の年齢は、二人が83歳、一人が77歳と、高齢にもかかわらず素晴らしい挑戦となりました。日ごろから体力増進に心がけ、十分な事前準備をして安全登山第一で目的を達成しました。

会員の皆様も、無事「成願」を迎える日までは、元気で健康な生活を送ることに心がけ、何事にも目標を持って取り組みましょう! (広報：鈴木慎吾)

中日新聞 静岡

2024年(令和6年)8月24日(土曜日)

富士山頂で記念撮影する「亀の会」のメンバー。鈴木さん提供



(中川耕平)

「一步、一步、また一步」。カメのようにゆっくりと歩みを進めながら山の頂を目指す登山愛好家のグループがある。日本山岳会東海支部の所属団体の一つで、会員の平均年齢が77・5歳の「亀の会」だ。有志が7月中旬、2泊3日の日程で富士登山に初挑戦。11人中、9人が登り切った。代表の鈴木慎吾さん(77)「熱田区」は「達成感と喜びをみんなで分かち合えた」と誇らしげに語る。

ゆっくり着実挑んだ富士

平均77.5歳「亀の会」有志11人中9人頂上へ



初めての富士登山を振り返り「仲間と達成感を分かち合えた」と話す鈴木さん＝熱田区で

亀の会は、前代表の加藤守彦さん(83)「東海市」が15年ほど前に立ち上げた。登山愛好家が年を重ねるにつれて以前のようなペースで登れなくなっても、安心して参加できるグループをつくろうと考えたのがきっかけだ。目標は卒寿まで山歩きを楽しむこと。現在は60代後半から91歳の51人が所属し、毎月1回、低山の登山などを楽しんでいる。

富士山への挑戦が決まったのは昨年冬の宴席の場。山頂にあり、数え年で70歳以上しか記憶できない富士山本宮浅間大社の「高齢登拝者名簿」に名を残そうと盛り上がり、とんとん拍子で計画がスタートした。参加希望者は高所に対応す

代表の熱田区・鈴木さん「喜び分かち合えた」

コロナ禍前には年間1000日は山に入り浸っていた鈴木さんにとっても富士山は「登山山じゃなくて見る山」だったという。「植物も少なく、人も多いので2回目はないかな」と話しつつ、仲間と共有した達成感は何ものにも代えがたいとして「いつまでも元気に皆さんと山を登りたい」と笑った。

富士登山には県内の11人が参加。7月16日の正午前に山梨県側から入る「吉田ルート」の1合目から出発した。4時間半をかけて6合目に到着。2日目は早朝に山荘をたち、約8時間で山頂へ。途中で2人が断念したが、登り切った9人は「へろへろになりながらハイタッチして喜んだ」(鈴木さん)という。

好天に恵まれた登りとは対照的に、下りでは濃霧や強風、雨に見舞われた。3日間歩いた時間は合わせて約23時間。ちなみに、登山道の情報や安全対策をまとめた「富士登山オフィシャルサイト」では、吉田ルートの標準登山時間は登山口がある5合目からの登りが約6時間、下りは約4時間となっている。

そのため、今年2月以降、標高2000級級の低山から体を慣らし始め、7月上旬には南アルプスの仙丈ヶ岳(3033m)を1泊2日で登り、自信を深めていった。

©中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています。

知多市地区不老会の集い 「メリーフェースちた」開催

恒例事業として、日帰り研修会を九月二十五日(水)参加者十四名にて開催しました。名古屋大学大学院医学系研究科技術職員 浅野文子様のご案内で、研究室での研究とその内容の説明を聞きました。その他、医学部の資料館内の展示品も存分に閲覧できました。懇親食事は、浩養園レストランにてお話も楽しく美食にあずかりました。平和公園の献体の塔内では、玄室の「ご名札」について、丹羽事務局長より詳しくお話



を聴き感涙しました。東山植物園内では、珍しいお花や樹木はガイドさんの案内のお陰で楽しく散策できました。今回の日帰り研修会は、暑い中でしたが有意義な集いの会でした。(地区代表 竹内 司)

第六十一回平和公園まつり

令和六年九月二十六日(木)真夏日の晴天の中、例年通り平和公園まつりが行われました。

とりどりの色衣をお召しの十名の僧侶の方々が炎天下の午後三時、献体の塔にお参りくださり、読経、献花を頂きました。御一行は午後二時より平和堂・伊勢湾台風殉難者碑・無縁塚・献体の塔・戦没者墓地を順に「回向・供養」して回られました。(広報 藤内美也子)



献体の塔清掃奉仕作業

九月十九日(木)三河・美濃ブロックの会員さん、担当地区以外の会員さん総勢三十名の方々にご奉仕していただきました。お彼岸というのにまだまだ猛暑で、ご参加いただきました会員さんは、どなたも汗びっしょりでした。皆さんありがとうございました。(事務局)



あ り が と う

不老会成願者から角膜の提供をうけ、光を取り戻した方々からお礼状が事務局に届きました。

○ 半田市 杉山 忠様

会 員 投 稿

● あと八年 目ざす百迄 頑張るヨ

一宮市 渥美 栄夫

● 淋しさを衣にかくす後の月



大府・東浦 野村 悦子

献体の塔清掃奉仕作業のお願い

- 一、担 当 知多ブロック、名古屋ブロック
ブロックに関係なくどなたでもご参加ください。
 - 二、日 時 12月14日(土) 午前10時より
 - 三、集合場所 名古屋市平和公園 献体の塔前広場
- 服装は、帽子、長袖、タオル、飲物などを用意しご参加ください。
○参加者は全て勤労奉仕とします。

お 知 ら せ

不老会事務所 年末年始お休み
令和6年12月27日(金) ~ 令和7年1月5日(日)

不老会会員のご家族にお願い

- 会員様のご逝去のとき、
すみやかに、下記の登録されておられる大学窓口へご連絡ください。
その際、電話に出た方に「不老会の会員ですが。」とお告げください。
そのとき、これからの献体のことについて、大学側との詳細な打合せが行われます。

<大学窓口の電話番号（不老会への参画順）>

名古屋大学医学部

- ・平日（9時～17時）（052）741-2111 大学の献体事務室
- ・夜間や土、日、祝日など（052）251-9296 代行窓口
- 上記以外の日時（一柳葬具總本店）

名古屋市立大学医学部

- ・平日（9時～17時）（052）853-8121 大学の献体担当
- ・夜間や土、日、祝日など（052）251-9296 代行窓口
- 上記以外の日時（一柳葬具總本店）

愛知学院大学歯学部

- ・年間をとおして（24時間）0120-365-254 代行窓口（愛昇殿）

藤田医科大学医学部

- ・年間をとおして（24時間）（052）910-1400 代行窓口（ティア）

愛知医科大学医学部

- ・年間をとおして（24時間）（052）794-1811 代行窓口（田中葬具店）

- ご逝去にともない、ご用意いただく書類

- ・死亡診断書（医師から受ける：**正本1通、コピー2通**）

正本1通は、市役所・区役所や役場に火葬許可を申請するときに提出します。

コピーは、1通は献体先の大学に、1通は献眼先のアイバンクに提出します。

- ・火葬許可書：**正本1通**

死亡診断書の正本を持参して、市役所・区役所や役場で交付を受け、ご遺体受け取りの大学に提出してください。火葬場は名古屋市八事斎場です。

注…交通事故、変死で死亡した場合及び死亡時に危険な感染症に感染している場合は献体できない場合がございます。（詳しくは、登録大学にお尋ね下さい。）

編集後記

今年の夏は異常な猛暑が続き、まさに「地球沸騰化」が現実味を帯びています。このまま地球の温暖化が続けば、一つしかないこの「瑠璃色の地球」を我々の子孫に残すことはできるのでしょうか？

今年の短い錦秋の候を楽しみましょう！

（広報：鈴木 慎吾）

地球の健康と
すべての人々の
健康で豊かな生活に
貢献します。

 SUZUKEN